

文書分類番号	00	09	03	002	永年	起案	令和7年11月13日	決裁	令和	年	月	日
議長	副議長	局長	次長	副主幹	担当	担当						文書取扱主任

## 第23回 厚生常任委員会 会議録

開催年月日	令和7年8月20日(水曜日)	開会9時52分	閉会10時44分
開催場所	第二・第三委員会室		
出席委員	藤田、好川、荒木、福井、高橋、木下、堀、田村、山口	事務局	寺嶋事務局長
欠席委員	三上		壽崎次長
説明員	別紙のとおり		
議件	別紙のとおり		
議 事 の 概 要	1 所管からの報告事項について		
	次の事項について所管から説明を受け、質疑を行い、報告済みとした。		
	(1) 滝川市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について		
	(2) 経営状況について		
	(3) 滝川市災害廃棄物処理計画(案)について		
	(4) 令和7年度一般会計補正予算について(障害者自立支援給付審査支払等システム改修費)		
	(5) 令和7年度一般会計補正予算について(こども誰でも通園事業実施経費ほか)		
	(6) 滝川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する条例について		
	2 第3回定例会以降の調査事項について		
	別紙調査項目のとおり決定した。		
	3 その他について		
	委員長より、厚生常任委員会行政視察について進捗状況の報告があった。		
	4 次回委員会の日程について		
	正副委員長に一任することに決定した。		
上記記載のとおり相違ない。 厚生常任委員長 藤田 哲也 ㊦			

## 第23回 厚生常任委員会

R7.8.20 (水)10:00～

第二・第三委員会室

開 会 9:52

委員長 おはようございます。定刻前ではございますが、ただいまより第23回厚生常任委員会を開会いたします。

### 委員動静報告

委員長 委員動静についてでございますが、三上委員より欠席の申出を受けております。寄谷議員、安樂議員、荻野議員、柴田議員が傍聴されております。株式会社北海道建設新聞社、株式会社北海道新聞社に報道の許可をしております。議長に出席をいただいております。

### 1 所管からの報告事項について

委員長 1、所管からの報告事項について、◎につきましては議案関連でございますので、ご留意願います。

市立病院、(1)について説明を求めます。

#### (1) 滝川市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について (別紙資料に基づき説明する。)

金子次長  
委員長

説明が終わりました。

質疑ございますか。

福 井

確認だけです。4,104万円は、この44床に対して、そのうちの10床分ということではよろしかったですか。

金子次長

はい、そのとおりで間違いありません。44床のうちの10床ということでございます。

委員長

ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長

ないようですので、(1)については報告済みといたします。

次に、(2)について説明を求めます。

#### (2) 経営状況について

倉本課長  
委員長

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わりました。

質疑ございますか。

福 井

2つほどあります。

ホームページのほうに8月18日に発行で、19日から外来の受診制限と、あと内科系救急患者の方も他院に搬送するということが掲載されていましたが、これはご報告をいただいた経営状況にも今後大きく影響が出るのかどうか1点です。

それと、これがお盆を絡んだ今回だけのことなのか、やはりドクター不足でこういうことが頻発まではいかないけれども、度々起こる可能性があるのかだけ確認させてください。

金子次長

本来こちらから報告をさせていただくほどのことではあると思うのですがけれども、福井委員がおっしゃるように内科の診療体制が回らなくなってしまって、今内科の外来の新規患者の受入れ、そして内科系患者の救急の受入れを一時休止しております。これはホームページにも記載をしておりますけれども、9月2日までです。こうなった背景としては、内科の医師で今急に病気やけがなど

でお休みする先生が一時的に重なってしまっている状況があります。これによって、8人いる内科の先生のうち4人を欠くという非常事態になってしまいました。ただ、9月2日までにこの状況は改善、解消していくという見通しですから、9月3日からは通常診療に戻るという見通しで今動いております。

では、このような状況が今後頻発する可能性があるのかということで申し上げますと、従前より申し上げているとおり内科医師が非常に不足していて、今回のような4人が欠けても診療体制がもつという体制をしっかりと構築しなければならないのですけれども、なかなか内科医師を確保できないというような実情がありまして、本当に方々手を尽くして探してはいるのですけれども、これは来年に向けても大きな課題だと思っております。この辺は議員の皆さんにもご協力をいただく中で、ぜひ市立病院のこれまでの診療体制を維持していくようにご協力をお願いしたいと思っております。

福 井

すごく大変な実情が分かりました。内科医師が8人から4人になるということで、分析はこれからだと思っておりますけれども、この2週間ほどは外来患者は数的には落ちるので、次回の報告もかなり低調な数字になるというふうな見込みでよろしかったですか。

金子次長

外来患者さんもそうなのでございますけれども、救急患者も他院に搬送ということになりますから、外来、そして入院、それぞれの実数に少なからず影響していく可能性はあります。ただ、15日間という限定的な期間ですから、そこは例えば計画に影響を及ぼすような経営に対する大きな影響というところまでは考えてはおりません。

委員 長

ほかに質疑ございますか。

堀

1点伺います。

入院にしても外来にしても平均単価が下がっていますけれども、この要因は何かありますか。

矢野課長補佐

単価の減少、低下についてのご質問ですが、外来はそれほど大きな変動はないのですけれども、入院につきましてはやはり今年度は患者数が少し増えております。患者数が増えているのですが、新規に入院する患者はそれほど変動してなくて、平均在院日数が伸びているという背景があります。平均在院日数が伸びているということになりますと、入院のDPC請求の制度上、新入院、入院の初期の点数が高く、だんだん在院日数が長くなると入院の診療の収入が減っていくという仕組みになっております。そういう患者が多いため単価が減っているというようなことが1つ言えると思います。

委員 長

ほかに質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員 長

ないようですので、(2)については報告済みといたします。

ここで所管を入れ替えますので、暫時休憩いたします。

休 憩 10:08

再 開 10:09

委員 長

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

市民生活部、(3)について説明を求めます。

**(3) 滝川市災害廃棄物処理計画(案)について**

上本主任主事

(別紙資料に基づき説明する。)

委員 長

説明が終わりました。

質疑ございますか。

高 橋

1つ質問させていただきたいのですが、市内には危険な空き家なども多く存在していると思います。こういった災害が起きたときに空き家が原因の事故ですとか、地震火災の拡大なども考慮されるかと思うのですが、これらの災害にある想定の中には空き家のことも含まれているのでしょうか。

田上課長

空き家についてのご質問なのですが、空き家については今回の想定の中にはございません。ただ、川の氾濫による浸水地域にある家屋の倒壊というものは見えてはおりますが、空き家だからという見方はしておりません。

委員 長

ほかに質疑ございますか。

福 井

私から5つほど。

1つ目なのですが、事業主体、処理主体が滝川市にあるということで、災害に備える整備費用の補助金が出るですとか、財源内訳を教えてください。次に、資料の(案)のほうの2—98ページにありました災害廃棄物への対応における環境影響と環境保全策の臭気の部分で、公衆衛生の観点から災害廃棄物からの悪臭に対して消臭剤、脱臭剤、防虫剤等で対応するとありますが、今までの防災備蓄等にもそういうおトイレ用などの防臭剤もついていたかと思うのですが、新たにこういうのもごみ用に備蓄するのかというのが2つ目の質問です。

それに付随して3つ目が、処理施設へ迅速に持っていくと書いてあったのですが、処理施設自体の被災による受入れ不能と、あと交通事情の不備の事態も考えられるので、それについて何か腹案があれば教えてください。

4つ目が、市が候補を出している仮置場についてです。おおむね候補どおりの置場を設置した場合、舗装や草刈りなど維持管理に費用が大きくかかると思うのですが、現時点の概算で年間どれぐらいの費用がかかるのか分かれば教えてください。

最後に5つ目が冬期の部分です。除雪をして維持管理をすると書いてありますが、特にこれは広大な広さだと、僕も大阪の人間でよく分かっていないのですが、受注業者の確保なんていうのは、既存の業者で賄い切れるもののかなという心配があったので、その辺りの分析があれば教えてください。

田上課長

今の福井委員のほうからあった質問なのですが、まず前提として今回の計画ですぐに何かをするということはまだ考えておりません。今回のこの仮置場についても、まだあくまでも候補地でございます、こちらが災害によってそのどこを使うか選定していき、規模がいろいろ変わります。そこが前提としてありますので、まずその財源とか、そういうものにつきましてはまだ何も想定しておりません。ですから、先ほど5つ目のご質問でありました除雪をするとか、ならずとか、そういうところもまだ検討はしておりません。実際に災害のときにそこをどういうふうに使ったらいいのかというのはこれからまず案をつくらせていただいて、今回の概要についての資料の1—6ページになりますが、災害廃棄物処理実行計画のたたき台をふだんからつくっておきまして、その中で最終的にその災害の実態に合わせたものでやっていくということになると思います。

それと2つ目の質問の臭気の関係なのですが、今のところ実際にその場所が決まっていますので、臭気対策をどの程度しなければいけないのかというのはこれからになるかなと思っております。またこれから検討させていただきます。

それと3つ目の処理施設については、後ほど担当のほうから説明をさせていただきます。

あと、ほかの施設、地域……

福 井 迅速に生ごみ等やし尿等を優先順位を決めて対応していくとあったのですけれども、その受入先が被災した場合の対応策等がありますか。

上本主任主事 ただいまご質問のありました処理施設の被災についてになりますが、こちらのほうも実際のその災害の規模ですとか、状況によって変わってくるものでございまして、本編2—121ページの9. 2、災害廃棄物処理実行計画の作成というところでも触れさせてはいただいているのですが、災害廃棄物の発生量と廃棄物処理施設の被害状況を把握した上で改めてここで災害廃棄物処理実行計画を作成するというにさせていただきます。場合によりましてはご指摘のとおり十分その処理施設が被災することも考えられますので、その際につきましては実行計画の中で道や国と連携させていただきながら、考えさせていただくということにさせていただきます。

委員 長 ほかにも質疑ございますか。

堀 1点伺いますが、災害時の発生廃棄物の推定トン数、これは何を基準にしてこの数字が出てきたのかを伺います。

上本主任主事 ただいまご質問にありました災害廃棄物の発生量の推計につきましては、本編の2—8から2—14に記載させていただいております環境省から提供していただいております市町村災害廃棄物処理計画策定ワークシートという、数字を入れたときに算定結果が出てくるようなワークシートを基に策定させていただいております。

委員 長 ほかにも質疑ございますか。

山 口 まず、災害が全国で起きると復旧作業とかがよくあるのですけれども、災害復旧の際の国の交付金というのは、この廃棄物処理に関してもどの程度出るのかというのと、それからこれは発生からおおむね3年以内に完了を目指すということなので、3年以内だと出るのかなという気がしないでもないのですけれども、その辺を確認したいと思います。

田上課長 申し訳ありません。当然災害の規模によりますが、災害復旧の交付金の対象になるとは思うのですが、その算定基礎の部分は今現在手持ちでございませんので、すみません、今お答えできません。

山 口 もう一個確認したいのですけれども、この災害廃棄物処理計画をつくることで復旧の交付金に増額の優位性があるとか、そういうことは考えられますか。

田上課長 今回これをつくった目的としましては、交付金が優位とか、そういうことではなく、災害発生時に災害発生ごみを適切に処理をする環境を整えるための計画でございます。ですので、ちょっとその交付金ですとか、財源的なお話は今回の中には含んではおりません。

委員 長 ほかにも質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員 長 ないようですので、(3)については報告済みといたします。

ここで所管を入れ替えますので、暫時休憩いたします。

休 憩 10:25

再 開 10:26

委員 長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

福祉部、(4)について説明を求めます。

**(4) 令和7年度一般会計補正予算について(障害者自立支援給付審査支払等システム改修費)**

谷内係長  
委員長

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長

質疑がないようですので、(4)については報告済みといたします。

ここで所管を入れ替えますので、暫時休憩いたします。

休 憩 10:27

再 開 10:28

委員長

休憩前に引き続き会議を再開いたします。

健康こども未来部、(5)について説明を求めます。

**(5) 令和7年度一般会計補正予算について(こども誰でも通園事業実施経費ほか)**

伊藤係長  
委員長

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長

質疑がないようですので、(5)については報告済みといたします。

続きまして、(6)について説明を求めます。

**(6) 滝川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する条例について**

伊藤係長  
委員長

(別紙資料に基づき説明する。)

説明が終わりました。

質疑ございますか。

(なしの声あり)

委員長

質疑がないようですので、(6)については報告済みといたします。

ここで所管及び報道各社は退室願います。

**2 第3回定例会以降の調査事項について**

委員長

それでは、2、第3回定例会以降の調査事項については、別紙のとおりとしてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委員長

それでは、そのように確認いたします。

**3 その他について**

委員長

それでは、3、その他について委員の皆様から何かございますか。

(なしの声あり)

委員長

事務局から何かございますか。

(なしの声あり)

委員長

それでは、私から委員会の行政視察の進捗について報告させていただきたいのですが、今現在10月27日からの明石市の日程はもう確定しています。しかし、ほかの自治体やほかの視察先の候補を当たっているのですが、今全て断られている状況で、視察先に難航している状況でございます。私としては、できれば医療関係で1箇所どこか追加で行きたいなというふうには考えているのですが、今そこを調べて難航している状況です。ですので、もし委員の皆様か

ら何かいい候補などがあれば、ご報告いただければ幸いです。今後また進捗がございましたら随時報告させていただきますので、よろしく願いします。

#### 4 次回委員会の日程について

委員長

それでは、次回委員会の日程につきましては、正副委員長に一任願いますが、よろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

委員長

それでは、第23回厚生常任委員会を閉会いたします。  
お疲れさまでした。

閉 会 10:44

令和7年8月15日

滝川市議会議長 山本正信様

滝川市長 前田康吉

厚生常任委員会への説明員の出席について

令和7年7月18日付け滝議第49号にて通知のありました第23回厚生常任委員会への説明員の出席要求について、次の者を説明員として出席させますのでよろしくお願いします。

なお、公務等の都合により出席を予定している説明員が欠席する場合がありますので申し添えます。この場合、必要があるときは、所管の担当者を出席させますのでよろしくお願いします。

記

滝川市長の委任を受けた者

総務部防災危機対策課長	平川泰之
市民生活部長	横山浩丈
市民生活部くらし支援課長	田上智章
<del>市民生活部くらし支援課係長</del>	<del>米内健三</del>
市民生活部くらし支援課主任主事	上本匡史
福祉部長	鎌田清孝
福祉部福祉課長	林裕樹
福祉部福祉課長補佐	神馬由佳
福祉部福祉課係長	谷内謙太
健康こども未来部長	景由隆寛
健康こども未来部子育て応援課主幹	井谷永里子
健康こども未来部子育て応援課係長	伊藤崇
市立病院事務部長	柳圭史
市立病院事務部次長	金子和史
市立病院事務部事務課長	倉本真吾
市立病院事務部事務課長補佐	古山貴昭
市立病院事務部事務課係長	里村真紀
市立病院事務部事務課主査（専門員）	堀勝一
市立病院事務部医事課長	青山和美
市立病院事務部医事課長補佐	矢野健介
市立病院事務部医事課係長	藤原元美
市立病院事務部医事課主任主事	井内雄大

(総務部総務課法制文書係)

第23回 厚生常任委員会

日 時 令和7年8月20日(水)  
午前10時00分～  
場 所 第二・第三委員会室

○ 開 会

○ 委員長挨拶（委員動静）

1 所管からの報告事項について（◎印は議案関連）

《市立病院》

- ◎（1）滝川市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について（資料）市立病院事務課  
（2）経営状況について（資料）市立病院事務課

《市民生活部》

- （3）滝川市災害廃棄物処理計画（案）について（資料）くらし支援課

《福祉部》

- ◎（4）令和7年度一般会計補正予算について（障害者自立支援給付審査支払等システム改修費）（資料）福祉課

《健康こども未来部》

- ◎（5）令和7年度一般会計補正予算について（こども誰でも通園事業実施経費ほか）（資料）子育て応援課

- ◎（6）滝川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する条例について（資料）子育て応援課

（終了後、所管及び報道各社の退室）

2 第3回定例会以降の調査事項について～別紙

3 その他について

4 次回委員会の日程について

○ 閉 会